

令和 8 年度 第 1 回大野市公共交通活性化協議会

議事録概要

○日 時：令和 8 年 6 月 26 日（金）14：00～16：00

○場 所：結とびあ 201・202 号室

◆次 第

1 開会

副会長挨拶

2 報告事項

（1）大野市の公共交通について

・事務局から、資料 1－1、資料 1－2 について説明

運行事業者からコメントあり

（R 7 まちなか循環バス運行事業者）

利用増加している。ボンネットバスのリフトが故障し、低床のポンチョバス 1 台を購入し、全台ポンチョバスで運行している。

（R 7 乗合タクシー運行事業者）

利用が増加するように市と相談しながら運行している。

運転手不足の解消のため、折込チラシを出した。地元の方を採用したい。順調に採用できている。

一般タクシーについて、5 月から事業を開始した。従業員の労務管理の観点から、営業時間を短縮せざるをえない。当初は日曜は営業しない方針であったが、市民への影響を考え、（7：00～13：00 の限られた時間ではあるが）営業することとしている。お通夜や登山など、予約があれば運行している。

（R 7 市営バス和泉大野線・和泉乗合バス運行事業者）

和泉大野線は学生の数に大きく影響を受ける。学生数の推移から、これから減少していく見込み。学生専用というイメージがあり、一般の方から乗車の可否を尋ねられることがある。しっかり P R していきたい。デマンド便についても P R している。移住者増加しており、利用方法など周知している。デマンドの方法が分かりづらいとの声があるので説明しながら利用促進していきたい。

（広域路線バス運行事業者）

大野線について、4 月から 1 便増便、済生会病院止まりを福井駅まで延伸した結果、I C カード利用者データで、昨年 4 月が 2,900 人、今年 4 月が 3,100 人と増加。改編の効果に加え、自転車のヘルメット義務化の影響もある。補助路線の条件も満たせそうであるが、一方で勝山大野線は厳しい状況。

運転手の状況は、欠員が 15 名。15 名採用、17 名退職で欠員が 2 名増加した。県外の説明会にも参加している。

質問：①返納者への支援件数は。②通学利用増えているか。

事務局：①自主返納支援制度の利用件数 5,396 件、助成額 926,770 円。②高校 2 校の乗降者数は把握しており、増加傾向にある。ヘルメット義務化の影響は把握していない。

質問:①認定者数というのは助成を受けられる方の人数か。②認定者数の累計は、亡くなられた方を含むか。
③運賃の補填の仕組みについて、定額のものとは分かるが、路線バスのように運賃が一定でない場合、
どのような手続きをしているか。

事務局:①認定人数は、支援希望者の数。②死亡者も含まれている。③請求の方法については、3月に一
度。路線バスについては、乗降場所に○をつけてもらい、当該運賃について補填している。

意見:課題の部分に記載の一般タクシーの営業時間の減少について、①観光客の利用状況、②土日祝日
7:00～13:00 および予約制ということで、今後どのように対応していくのか教えてほしい。

事業者:5月からの数字ではあるが、宿泊施設からの登山客が多かった。時間は5時とか。越前大野駅からタ
クシーで市内観光をするというような利用はない。観光客は計画的に来る方が多いので、予約制のこ
とを京福バスや越美北線でも周知してもらえると助かる。常に待機していきたいが、民間事業であるの
で、どうしても儲かる時間帯の営業になってしまう。何か支援があると営業時間の拡大は考えられる。
市から情報もらえれば、適宜対応したいと考えている。

質問:タクシーは早朝でも対応しているのか。

事業者:対応している。複数の場合は時刻調整することもある。帰りは越美北線が多いようである。登山客は
計画的であり、一週間前、一か月前に予約が入ることもある。

意見:駅で待機しているわけにはいかないという話があったが、あわら市では営業補償をして、駅で待機して
もらっている事例はある。運行事業者の都合と、公金を入れるべきかという議論はあると思うが、参考
まで。

事業者:観光タクシーについて、7:00～17:00 の営業であり、土日祝日は営業していない。コロナ禍を機に
夜間は営業をやめた。従業員不足もある。越美北線で大野にきて、越前大野城、宝慶寺、黒谷観音
などが行先の観光客は少しずつ増えている。登山客もいる。前もって予約してもらえば運行すること
はあるが、直前では対応できないのが現状。

(2) 令和8年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトへの交付申請について第 三者委員会による二次評価の結果について

・事務局から、資料2について説明

意見:内容が分かりづらく、具体的に何をするのか分からない。フルデマンド化にこの予算を使う
ということか。土日の運行もこの事業のなかでやるのか。

事務局:フルデマンド化も選択肢のひとつとして考えている。タクシーとの棲み分け含めて、あく
まで調査をするということ。

意見:タクシーの初乗りは、620円、迎車で150円。フルデマンド便が300円であれば、
タクシー事業の確保が難しくなる。あわら市の事例のように待機料が出るのであれば、話を
聞くことできる。

事務局:フルデマンド便を検討するとして、エリアをどうするかなど交通事業者からヒアリングさ
せてもらいながら進めていきたい。タクシーへの支援も含めて、本市の最適な公共交通の実
現に向けて調査していきたい。

意見:和泉エリアでは、フルデマンド化されている。そのなかで、タクシーとフルデマンドの線
引きをお願いしたい。利用者から、タクシーでもデマンドでも好きなほうにしてくれ、とい
う方もいる。予約時刻や料金の違いはあるので説明して選択してもらってはいる。和泉地区
でも説明しやすい線引きができると有り難い。

意見：交通事業者と一緒に検討していただきたいと思います。

質問：協議会でやる調査事業であって、レポートにまとめるという理解でいいか。委託事業ということか。

事務局：そのとおり。

意見：乗合タクシーの利用者減り続けている。利用者にとって最適なものにすべき。制約が多い。他市町の事例を参考に、より良いものにしてもらいたい。

(3) 令和6・7年度地域公共交通確保維持改善事業二次評価について

- ・事務局から当日資料1について説明

3 議題

(1) 令和7年度事業報告及び収支決算並びに監査報告について

- ・事務局から、資料3について説明

異議なし

結果：承認

(2) 令和8年度事業計画及び収支予算案について

- ・事務局から、資料4について説明

異議なし

結果：承認

(3) 令和9年度(R8.10~R9.9)地域公共交通確保維持改善事業について

- ・事務局から、資料5について説明

意見：事業の目標で一部、R10の目標値をR7実績で達成している。達成済みのものについてはこのままでいいか国に確認すべき。

事務局：運輸支局に確認し、提出したい。→その後確認した結果、申請案のままでよいとのこと。上方修正は、地域公共交通計画と齟齬が生じるため。ただし、今後の協議会ではそのような説明をすることや、前年度を上回るように引き続き取り組んでいくようアドバイスをいただきました。

異議なし

結果：承認

(4) 自家用有償旅客運送の更新登録の申請について

- ・事務局から、当日資料2について説明

異議なし

結果：承認

4 その他

- ・えつみ日和（越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会発行の広報誌）、バス運転体験会のチラシについて周知

5 閉会

【会議の様子】

